

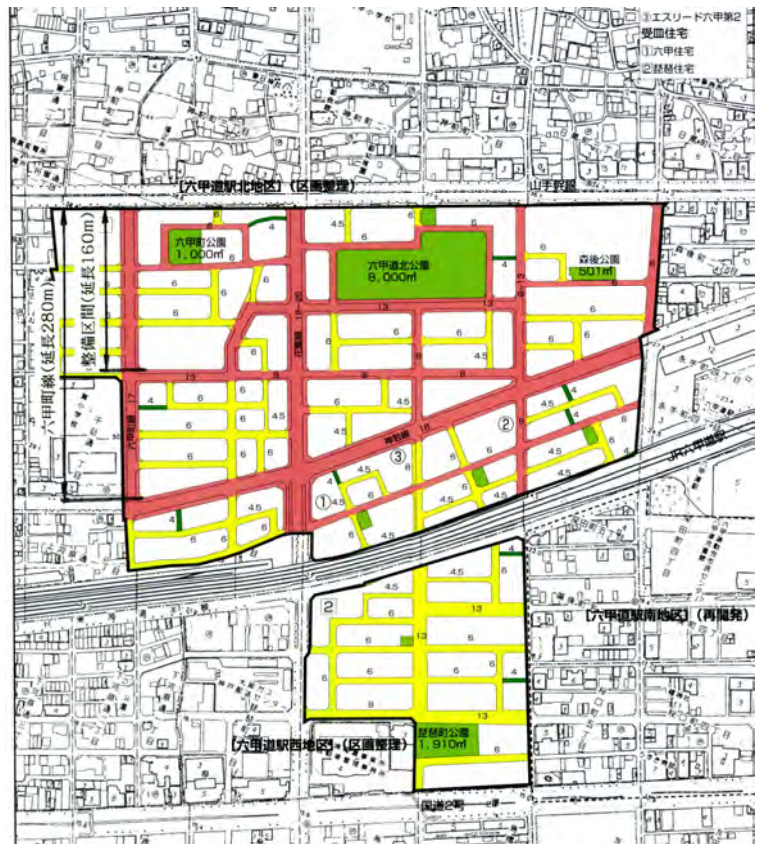
震災復興土地地区画整理事業「六甲道駅北地区」

六甲町線の「せせらぎ」が完成

六甲道駅北地区震災復興土地地区画整理事業では、六甲道駅北地区まちづくり連合協議会からの「みんなが安心して暮らせるまち」の再建を目指した「まちづくり提案」をもとに、協働による復興まちづくりのシンボルとして都市計画道路六甲町線160mの整備とその間の「せせらぎ」が完成しました。

この「せせらぎ」は、震災直後の消火活動や避難生活での水の尊さを痛感した経験を踏まえ、ふだんはまちに潤いと憩いを与え、地域のコミュニケーションの場になるとともに、非常時の消火用水や生活用水に役立てるよう整備したものです。

また、「せせらぎ」には、地下水を流すとともに、取水のための電力については太陽光発電を使用するなど、エネルギーの有効活用にも配慮しています。



→ 設計図



↑ 整備された
六甲町線

↓ 記念碑



せせらぎ等の整備内容

- ・せせらぎ：延長70m、断面 1.00×0.25m
- ・六甲町線：延長160m、幅員 17m
- ・太陽光発電：最大発電力 2.5 kW

(参考) 六甲道駅北地区の事業概要

- ・施行区域：森後町3丁目、永手町5丁目、
六甲町1～5丁目、稗原町1～4丁目
- ・事業年度：平成8年度～平成14年度
- ・施行面積：約16.1 ha
- ・総事業費：約347億円
- ・減歩率：9% (公共減歩率23.73%)

連載「コンパクトタウンづくり」活動報告

第5回 各地区の熱い夏 2002

夏です！地域でも夏はイベント盛り沢山の季節！！

これまで「コンパクトタウンづくり」に取り組む各地区の様子を紹介してきましたが、今回はちょっとお休みして、各地区のアイデアや熱気あふれる夏の風景を、コンパクトタウンづくり担当職員がお伝えします。

■第1回 神出の里ウォーク（7月28日）

午前8時集合。その少し前に集合場所の神出小学校へ到着。雲ひとつ無い上天気かつ猛暑！これで約10kmほんとに完走できるのかと心配になりながらラジオ体操をして出発。神出の町並みとすいか園などの田畑の中をゆったりとした気分ですく。程なくコース最大の難所（？）雌岡山登山へ。頂上の神出神社では、お茶と郷土史語り部のサービスが。しばし、悠久へと思いを馳せる。



コース後半は、ほぼ神出山田自転車道沿いに、いも園、ぶどう園やため池、疎水など、神出ならではの田園風景を満喫しながら最終目的地の神出自然教育園へ到着。炎天下の中、汗だくになりながらゴールに振り返ると、よく冷えたすいかとトマトの振る舞い。そして、お昼ご飯にと、おにぎりや地元産ひまわり油で揚げたこれも地元産野菜のてんぷらが供された。神出の皆さまの心尽くしには大感謝！辛くも嬉しい「HOT！ほっと！」な2時間半でした。

■大国公園夏まつり（8月3日・4日）

JR鷹取駅の南東に広がる野田北部地区は、街なみ環境整備事業と震災復興土地区画整理事業の区域に含まれ、都市の基盤施設がほぼ整ってきた地域です。「わがまち野田北かわらばん」の発行や「野田北ふるさとネット」の発足など、様々なソフトの活動が盛んです。北区大沢地区の「どろんこバレー」への参加や、餅つき大会に大沢の「獅子舞」を招くなど、他地区との交流も活発で、コンパクトタウンの貴重なモデル地区の一つです。

地区の中心にある大国公園で開かれた夏まつりには、地域の祭りには珍しく、ベトナム、韓国、ペルーなどのエスニックな料理の店が並び、地域の人たちに混じって外国人が楽しそうに炭坑節などの盆踊りに興じていました。この公園は、震災時にまちの延焼を防いだことと、その後の救援活動や地域づくりの拠点となったことで有名になりました。身を挺して地域を守った

公園の木々は、今、青々とした緑の葉に包まれ、優しく地元の人たちの活動を見守っています。



■第4回 どろんこバレーボール大会（8月4日）

大沢町と交流のある野田北部地区の皆さんと市職員が合同チームを結成し、第4回「どろんこバレーボール大会」に初参加することになりました。フルーツフラワーパーク近くの休耕田には水が満たされ、泥というよりも沼状態のコートが8面。過去最高、多分全国でも例のない総勢90チームが戦います。ところが昨年の優勝チームが現役高校生の男子バレー部だと聞き、わがチームの無謀さに愕然。さらにビキニパンツに編タイトの男性陣や、カメラ小僧を釘付けにした全員お揃いの赤のTシャツ・短パン姿の美女チームらを横目に「仮装部門でも負けている…」。わがチームは泥にまみれる快感を味わっているうちにあっさり勝負がついてしまい、来年はハデに衣装をしつらえて、練習にも励むゾ！と決意したのでした。



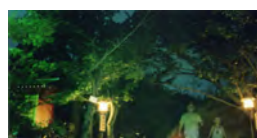
なお、参加者は大沢の美味・完熟トマトがもらえます。写真は昼食、野田北部の絶品！炊き出しカレーです。

■智慧の盆（8月9日）

須磨区、山陽電鉄「須磨寺」駅を下車。北西方向に坂を登れば須磨寺へ、南東方向に坂を下れば綱敷天満宮に導かれる。この道を弘法大師や天神さんの知恵にあやかって、地元の人々は「智慧の道」と呼んでいる。

8月9日、この道で盆踊りが行われました。綱敷天満宮から須磨寺へ、区の連合婦人会による総勢200人の踊り手。浴衣姿が「智慧の道」いっぱいになり、同時に道端には約400本のろうそくが灯され「光の回廊」を演出。幻想的な一夜となりました。

（とほぼ、紙面がない！みんな、書きすぎ（怒））



〔企画調整局総合計画課コンパクトタウン担当者一同〕

※今回は執筆者全員がこっそり写真に出ています。

まちづくりワークショップ・基礎講座 ーその4ー

1. 第2回ワークショップ<8月5日(日)>

第2回ワークショップは、主要な部分の寸法やデザインの要素を検討するために、**デザインゲーム**を織り込んだプログラムを組み立てました。

<まず… ～前回のまとめと検討結果の説明～>

第1回で出されたいろいろな改善案を一覧表にまとめて、技術的な検討や管理者との協議を行った項目、今回のワークショップで案を練る項目、整備に直接関連のない項目に分けて説明を行いました。全体をスロープにするのは延長と勾配の関係から不可能であること、ベンチや植栽は管理面や防犯面の理由で管理部局のOKが出なかったことなどをここで説明しました。

<プログラム1 ～いろいろな階段を歩こう～>

階段全体の幅や1段の高さ、奥行き、材料などを決めるために、周辺にある5つの階段を実際に歩いてどの階段が歩きやすいかなどを調べました。各自チェックシートを手にもってグループごとに出発です。小さな階段も上ったり下ったりして使い勝手を調べました。1段の高さも低ければよいというわけではありません。勾配が緩すぎるとかえって歩きにくいという声も聞かれました。部屋に帰ってからは、あらかじめ用意しておいた模造紙の表にグループごとのまとめをします。各グループとも、歩きやすいのは「滝の茶屋駅の階段」のようです。ただし、手すりは太すぎてだめ、との意見も出ています。ここで、それぞれの階段の寸法や段数をクイズ仕立てで種明かししました。これを予想し

いざ調査に出発



cm程度、踏面は32～35cm程度が一番歩きやすいようです。

<プログラム2 ～歩きやすい階段はどれだろう 階段のイメージづくり～>

休憩をはさんで、次は新しい階段のイメージを固めていくプログラムです。直接設計に結びつく項目も多く、このワークショップの中心となるプログラムです。既に参加者それぞれの頭の中には思い思いのイメージがぼんやりと描かれているはず。では、他の人はどう思っているのでしょうか？今回は、**旗揚げアンケート**

トを使用しました。**旗揚げアンケート**は、割箸と色画用紙で作った10cm四方の旗に1から5までの番号が書いてあり、あらかじめ用意された質問に5つの選択肢から選んで答えてもらう簡易アンケートです。回答は一斉に旗を上げて、スタッフが数を数えます。この方式の利点は、選択肢の順番に挙手してもらう方式と比べて、ひと目で全体の傾向がわかるのと、周りの状況を見ながら選択するような日和見的な回答や、結局どれにも手を上げない人が出るのを防止できることです。この方式ではいかに練られた選択肢を準備できるかが重要なカギです。明らかに誘導的な表現や偏った選択肢は、決してよい結果を生みません。回答者が迷って旗の色が均等に分散するように選択肢を考えるとよいとされています。ほとんどの場合、選択肢に「その他」を設けて、意見を拾い上げることも必要です。単純な多数決ではないので、少数意見を拾い上げるために、回答数の少ない選択肢については、なぜそれを選択したのか理由を聞いてあげることも重要です。時としてそういう意見がとても重要な意味を持つ場合があるのです。



旗揚げアンケート

さて、今回の旗揚げは、①雰囲気②幅員③舗装④擁壁⑤イメージカラー⑥車止めの6項目で行いました。幅員については「2.5m=傘をさしたまますれ違える」などのわかりやすい表現や、舗装や擁壁の材料については、事例写真のカラーコピーやイラストを作成するなど、素人でも理解しやすい工夫をしておきました。結果は「やさしい」「落ち着いた」雰囲気で、幅は2.5～3m、舗装のアクセントはインターロッキング、擁壁は石積みという意見が多く、これをベースに専門家の手で設計をまとめることになりました。この結果には、あらかじめ街頭でインタビューした結果と宿題で集まったアンケートの結果も加えられています。

2. 最終回に向けて

今回のワークショップで集められたキーワードをもとに、専門家の手で基本設計を行い、ようやく目に見える形の「案」ができあがります。第3回はそれについて意見を聞き、完成させるワークショップです。

西 修（住宅局住環境整備部地域支援課主査）

新着図書のご紹介

名称	大分類	著者名	発行元	発行年月
イタリアの路地と広場(上)	都市	竹内 祐二	彰国社	01年8月
都市の技術	都市	東京都立大学土木工学教室	技報堂出版株式会社	01年5月
地域開発と地域経済	経済・経営	池田 均	日本経済評論社	01年5月
地方都市の風格	都市	辻村 明	東京創元社	01年7月
市民参加の国土デザイン	まちづくり	日端田 康雄	日本経済評論社	01年7月
イタリアの路地と広場(下)	都市	竹内 祐二	彰国社	01年8月
川人街 川を活かしたまちづくり	都市開発・再開発	財団法人リバーフロント整備センター	山海堂	01年7月
都市ができるまで インフラストラクチュアからみた都市のはなし	都市	Matthys Levy / Richard Panchyk	森北出版株式会社	01年5月
「明日の田園都市」への誘い ハワードの構想に発したその歴史と未来	都市開発・再開発	東 秀紀・風見 正三・橋裕子・村上 暁信	彰国社	01年10月

当センターにふさわしい図書、資料をご紹介します。担当：橋本まで。

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

9月2日(月)～30日(月)	悪徳商法告発パネル展	生活文化観光局消費生活課
----------------	------------	--------------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期間	内容・テーマ	主催者
9月 5日(木)～10日(火)	蒼鈴堂 日本画自在展	中島 上総
9月12日(木)～17日(火)	油絵グループ展	吉中 弘
9月19日(木)～24日(火)	'02神戸芸術学林絵画展(油彩水彩等)	芸術研究所神戸芸術学林
9月26日(木)～10月1日(火)	写友会写真展	兵庫倶楽部写友会
10月 3日(木)～ 8日(火)	26回ART'81展(油彩)	ART-81

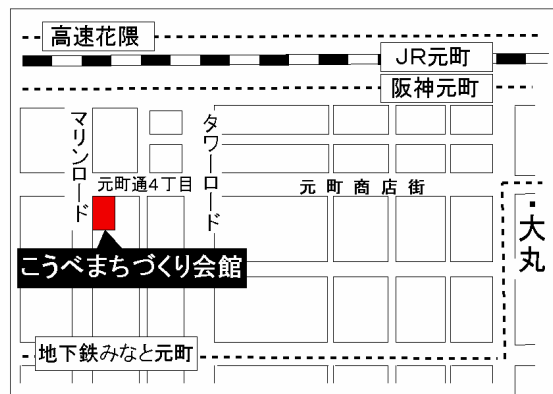
投稿のお願い

まちづくりセンターでは、「あーばんとーく」が読者の皆様の少しでもお役にたてるように、まちづくり協議会が行う地域でのイベントなどの行事案内やまちづくり協議会の活動の記事を募集しています。

誌面の許す限り最大限取り上げていきたいと考えています。

ご希望によっては、取材にお伺いすることもできます。

まちづくりセンター(電話361-4523)までご一報ください。



最寄駅

地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分

高速花隈駅東口から3分

高速西元町駅東口から5分

JR・阪神元町駅西口から8分